

# スーパー難デキを訴求

## αシクロデキストリン「CAVAMAX」

αシクロデキストリン「キストリン」と称して訴  
 求し、販路拡大を図る。  
 抑制作用は、一般的な難  
 消化性デキストリンが1  
 日摂取目安量5gで効果  
 を示すのに対し、2gで  
 効果を示す。また、脂肪  
 酸には善玉の不飽和脂肪  
 酸と悪玉の飽和脂肪酸の  
 2種類あるが、不飽和脂  
 肪酸には影響せず、飽和  
 脂肪酸は吸着して排出す  
 る選択的排出作用もαC  
 Dは持つ。シクロケムで  
 は、αCDがこれら機能  
 を保持し、且つ難消化性  
 で、ブドウ糖が数個連な  
 るデキストリンから、自  
 社のαCD「CAVAMAX」  
 AX W6 Food」  
 をスーパー難消化性デ  
 について、αCDから腸内

細菌が生成した短鎖脂肪  
 酸により、免疫の過剰な  
 働きを抑える制御性T細  
 胞が増えたことによると  
 考えている。また、ニュ  
 ジーランドのオタゴ大学  
 が行ったヒト糞便細菌叢  
 を用いた研究では、αC  
 Dとマヌカハニーを組合  
 わせたところ、短鎖脂肪  
 酸産生量はαCDのみよ  
 りも増加し、同社は「こ  
 の組合せは強力な抗アレ  
 ルギー素材となる可能性  
 がある」と訴える。  
 このほか、αCDとマ  
 ヌカハニーを組合わせる  
 ことにより、アクネ菌や  
 歯周病菌などに対する抗  
 菌作用が相乗的に高まる  
 ことも同社は確認してお  
 り、同作用でも訴求し、  
 新規顧客開拓を図る。

### 特集②

AX W6 Food」  
 をスーパー難消化性デ  
 について、αCDから腸内